

No. 39

山 中 湖 村

議会だより

令和6年 第1回 3月定例会

写真：昭和32年の旭日丘地区（AIでカラー化／説明P.14）



CONTENTS

議会報告	・・・	P2	委員会レポート	・・・	P12
3月定例会 一般質問	・・・	P6	議案の採決結果	・・・	P13
村民の声 紹介	・・・	P10	議員活動トピックス	・・・	P14
委員による区長インタビュー	・・・	P11	編集後記	・・・	P15
いっしょに学ぼう	・・・	P12	インフォメーション	・・・	P16

令和6年度

予算総額

76億4,283万4千円でスタート

※予算総額には事業会計の支出予定額を含みます

3月議会で全議員による予算特別委員会（堀内康雄委員長、羽田浩副委員長）を設置し、一般会計と、5つの特別会計、令和6年4月から公営企業会計に移行する下水道・簡易水道事業会計について、付託審査のうえ、本会議で可決しました。

※予算概要や主要事業については、広報やまなかこ5月号（P.2～4）をご覧ください。▶



予算特別委員会



「安心・安全に暮らすことのできる村」にするため、予算は本当に重要です！今おかれている村の財政や、各施設の老朽化状況もよく考え、慎重に審査しました。議会とも「信頼と協力」の中で予算の執行をお願いします。

堀内 康雄 委員長

委員会の審査報告

執行部は、法人村民税の減少や物価高騰などによる厳しい財政が予測される中、観光経済対策、少子高齢化対応、公共施設維持など村を取り巻く多くの課題に対応するため、予算編成にあたり鋭意努力されたと判断し、付託された令和6年度各会計予算8議案については、全会一致で「原案のとおり可決」すべきものと決定しました。



注目！ 審査での質疑ピックアップ



Q.1 法人村民税はどの位減少しているか。

A.1

当初見込み

昨年

7億 5300万

今年

1億 9700万

5億 5600万 減 ↓

Q.2

国では自治体ライドシェアの取組みを進めているが、交通手段の困難な方の予算措置をどうしたか。（関連：樋口議員R5年9月議会一般質問）

A.2

村の現状に合う対策をどうするか福祉担当で協議中のため、当初予算には計上していない。

意見

福祉だけでなく観光面も含めて全庁で早急に進めるべき。

Q.3

文学の森公園の愛称募集したがPRはどうなっているか。

A.3

「グリーンパーク」に決定し、国道入口に看板を設置予定。今後、来訪者にアピールしSNSで発信してもらえるよう取り組みたい。



文学の森公園入口

Q.4 観光情報発信事業は、どのような形で行っていくか。

A.4 空港や高速SAでの各種パンフレット配布、デジタルサイネージ
高速バスラッピング、プロモーション動画作成、SNS発信など。

意見 折りたたみパンフレットは好評で経費もかかると思うが、無料のため
か捨てられることも多いようなので、防止する点から、少額でも有料
にしてはどうか。SNSも風景だけでなく違った視点も取り入れ、更に
興味を持たれるような発信をお願いしたい。QRコード活用や成田空港から山中湖までの
YouTube動画も有効と思う。



折りたたみハイキング・
サイクリングパンフレット

Q.5 障がい福祉費が増えているのは、障がい福祉サービス事業所の増加によるものか。

A.5 事業所数に大きな変化はなく、利用者が増えているため。

意見 障がい者の方の家庭から将来の不安の声をお聞きするので、安心できる取組みを目指してほしい。

Q.6 交流プラザきらら指定管理者の5年度の実績をどう評価し、
6年度に向かっていくか。

A.6 R5.4.1から新たに5年間の指定管理がスタート、コロナ5類移行後
の施設貸出しは順調だが、今後はプロポーザル選定時の企画提案を
しっかり実行することが必要である。



きららイベント風景

Q.7 河川維持補修事業あるが、老朽化の進む二の堀の補修をどう考えているか。
(関連:高村富三人議員R5年9月議会一般質問)

A.7 県とも上流部の導水路計画について打合せ中だが、20年以上事業が中断しており、補助金活
用含め調整している。演習場使用協定の事業計画にもあるため、それに基づき進めていきたい。

Q.8 沖新畑区の消防体制はどうなっているか。

A.8 可搬式ポンプがあり、自主防災会での対応となっている。

意見 山中地区から出動しても時間がかかるので、分団設置の検討や消防設備など、初期の出動体制を
整えてほしい。

Q.9 介護保険料の歳入減は制度変更によるものか。

A.9 65歳以上の1人あたりの基準額を、3年に1度の見直しで

第8期事業計画5,200円から

第9期で4,800円に下げたため。

事業計画

第8期

5,200円



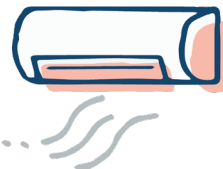
第9期

4,800円

議員の一般質問に関連して、予算計上された事業を紹介します。

● 小中学校の冷暖房設置

令和5年9月議会で、長田一彦議員が、暑さが厳しい昨今、今の子ども達のために、冷暖房の今後の対策を問いました。



● 地域医療健康センター基本構想策定

令和5年12月議会で、樋口重喜議員が、村民の元気・健康を守るため、村長提唱の地域健康センター的施設建設の方向性を問いました。

● 高等学校等就学に対する助成金

令和5年12月議会で、高村明成議員が、物価高などに伴う
高校生がいる家庭の負担増大を訴え、見直しを図られました。

3,000円/月 → 4,000円/月



視察研修 報告



令和6年2月8日(木)・9日(金)に、村議会として、今後の本村施策の参考とするため、次のとおり視察を行いましたので報告します。

● 静岡県小山町 施設園芸団地ほか

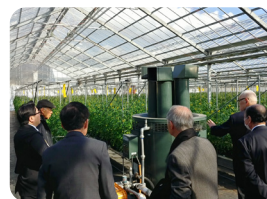
視察テーマ 県境を越えた地域全体を見据えた振興施策に向けて。

1 サンファーム富士小山

施設面積 約4ha **栽培品** アメーラトマト

通常のトマトは、糖度4度を超えると甘いと言われるが、糖度が高く甘いことで有名なアメーラトマトの出荷基準は、冬場8度・夏場7.5度以上。

特色 ハウスごとに作付け時期をずらし、クリーンな環境で、年間を通した収穫を可能とするため、木質バイオマスを併用導入したハウス暖房で燃料削減に取り組むなど、地球に優しいトマト栽培を実現している。



「アメーラトマト」ハウス内

2 富士のふもと農園

施設面積 約12.9ha **栽培品** リーフレタス

特色 ビニールハウスを活用した水耕栽培。日照量が少ない時間帯や時期は、不足する光量をLEDライトで補い光合成を促進し、収穫・品質向上の技術を導入している。そのため上空がピンク色に染まることがあり、その様子は本村から見えることもあります。



リーフレタスの栽培説明

この他、湯船原工業団地の食品加工生産・新産業集積エリアなども視察。再生可能エネルギーを活用した産業拠点の整備で雇用千人を目標という、県をまたぐが隣接する小山町様のパワーに刺激を受けた研修となった。

● 神奈川県松田町立松田小学校

視察テーマ 小学校統合問題に伴う新小学校建設の場合の参考とする。

- 特色**
- 旧校舎が築50年を経過し、新校舎を建設(R2年10月～R4年1月)
 - 全国3例目となる木造3階建て+RC造(1時間準耐火構造)、
 - 敷地面積10,924.05㎡ 建築面積2,573.55㎡ 児童約400人
 - 町産木材を校舎の一部に使用し、郷土愛の熟成を行う
 - 体育館アリーナ、放課後児童クラブも校舎内に設置(費用抑制につながる)
 - 避難所機能として40t耐震性貯水槽の設置



松田小 正面

文部科学省が推進する「木の学校づくり事業」の支援を受けるなど、費用約32億の約40%補助金を活用した取組みをはじめ建設までのプロセスも教えていただき、今後の議論に大きなヒントを得ることができた。



学習スペースなどにも活用できる広い廊下

※小山町・松田町の皆様このたびは大変ありがとうございました。

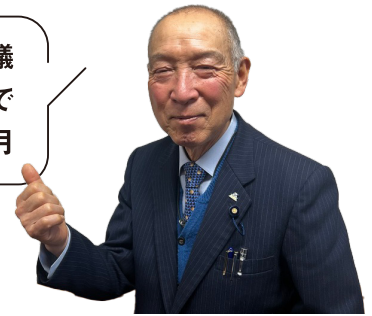
小学校統合及び教育の在り方に係る 特別委員会 中間報告

村の長年の課題『小学校統合問題』の解決を目指し、令和5年6月議会で特別委員会が設置され、教育委員会・役場担当と連携し、これまで4回の委員会開催と、松田小学校視察(P.4)も行った結果、令和6年3月議会で次のとおり中間報告をしました。

概要

学校統合に関して

高村 盛雄 委員長



小規模校のメリットは理解するが、児童数減少が予測される中で、未来の村を担う子ども達の資質能力を伸ばすためには、集団の中で多様な考えに触れ、認め、協力し合い、切磋琢磨することが大切で、統合が必要であるという意義は理解できる。

新設小学校の候補地

文部科学省の指針から、児童数が最も多く、スクールバス運用を考えると山中地区が望ましく、現状で大規模な公有地は次の2か所があり、検討結果をまとめた。

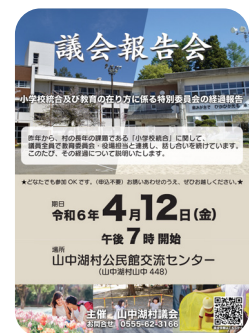
候補地	現山中小学校	山中湖村総合運動場広場 (菊地牛乳店様横)
面積	約17,000㎡	約21,983㎡
進入道路	● 正門の道路1本のみ(拡幅済)	● 3方向の道路に接道している
メリット	● 既に体育館・グラウンドがあり、建設費用抑制が見込める	● より広い敷地で学べる ● 災害など緊急時の車両乗り入れ、スクールバスの運用で優位
懸念点	● 埋蔵文化財包蔵地内で何か発掘された場合、工事に支障がでる可能性有 ● 山中浅間神社用地が学校敷地に含まれているが、現在、村との使用貸借契約がされていない。 ● 用地の確定が済んでいない	● 富士山噴火の第3次避難ゾーン ● 自然公園法の建築規制緩和の可能性がでてきたが、確実に行えるか現時点では不透明

この結果を受け



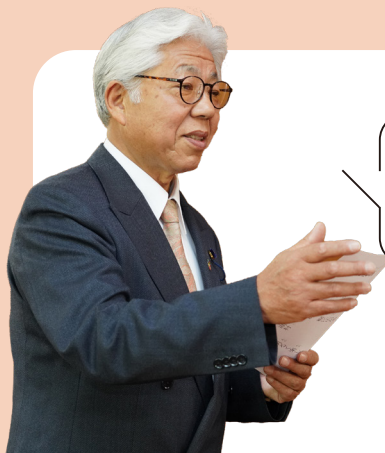
議会報告会 開催

小学校統合について、住民の皆様への周知は、令和2年意見書「統合し、新設校の設置場所は現山中小の南側とする」という結論のままでしたが、特別委員会で新たな内容ができました。この問題を次のステップに進めるためには、地域住民・保護者・学校の皆様と内容を共有することが必要不可欠と考え、4月12日(金)に議会報告会を開催しました。参加いただいた皆様からも、進捗がなかった落胆や校舎老朽化の心配の声があがりました。議会に建設場所・時期を決定できる権限はありませんが、村の子ども達のために1日でも早く良い方向にできるよう、議論を早急に進めていきます！



一般質問 要旨

要旨は、各議員が責任編集しています



明日は我が身だ！避難所の運営や
防災対策に女性の目線と女性の人
材登用が絶対に必要だ！

樋口 重喜 議員

能登半島地震（防災ニッポンより）

● 能登半島地震から学ぶ本村の防災体制について

Q.1 本年1月元旦に発生した能登半島地震は、最大震度7、マグニチュード7.6で甚大な被害が発生。東南海地震や富士山噴の想定されるなか、明日は我が身の緊迫した問題であり、次の3点伺う。

- ①能登半島地震の教訓をどう受け止めたか？
- ②本村の地域防災計画は平成27年3月のままだが、見直を行うか否か？
- ③「想定外」という言葉が使われるが、本村の想定規模は？

A.1 ①ライフラインの損傷から支援や復興の手配が進まない。災害時における避難所機能の課題も明らかになった。トイレや手洗い等の衛生管理、避難生活でのプライバシー確保などの教訓を生かし防災体制や訓練を行っていく。

一方マンパワーや資材不足、ノウハウ不足が懸念され、必要な準備を整えていきたい。

②地域防災体制の見直しは、教訓事項を反映していく。

③従来最大震度を6強から震度7を想定し計画策定に生かしていくことになる。

● 役場力をUPするための職員研修について

Q.2 村の活性化には「役場力のUP」に掛かっている。全職員の能力UP・スキルUPが必要条件だが、次の3点伺う。

- ①過去3年間の研修実績を踏まえ、研修システムと評価システムは？
- ②山梨県市町村職員研修所の主なカリキュラムの内容は？
- ③自主的研修の奨励や評価制度は？

A.2 ①令和3年度206名、令和4年度194名、令和5年度243名の参加。新任研修や専門的な研修も行っている。インターネットを活用したEラーニングなどは職員の履修状況が確認できる。

②内容は、階層研修と能力研修がある。

③今後受講意欲の向上に向け検討してまいりたい。





老朽化が進む平成8年オープンの「石割の湯」

● 紅富士の湯、石割の湯、その他公共施設の現況状況について

Q.1 村長就任以来3年間で、やっといままで停滞していた船が一つの方角性をもって動き始めたと感じておりますが、その中で気になった点がありますので質問いたします。

「石割の湯」「紅富士の湯」「きらら」の老朽化が著しいと聞いているが、それぞれの概算改修費用と精密調査をしているのか、また温泉施設の開業当時の湯量と現在の湯量をお伺いします。

A.1 概算費用は石割の湯10億円、紅富士の湯設備関係、サッシ及び天井改修含め13億円、きらら屋根・外壁・グランド等改修4億円です。調査は順次実施しており、温泉施設は平成27年に改修いたしましたが、当時調査で石割の湯改修が優先して必要となっているにもかかわらず、紅富士の外壁及び内部改修を優先したとのことでした。

石割の湯の湯量は再掘削時毎分60L、現在毎分24L程度で、温度は25度を下回っております。

Q.2 概算改修費用が約30億円、これに小学校統合が決定すれば建設費が30億円程度必要かと思われ決して財政は潤沢ではないことが議員諸兄も解ったことと思いますが、住民観光客の安心・安全の為にも村債しでも改修すべき点は優先順位を検討し改修をお願いいたします。また、役場職員にもこ

エッ、
30億円!!

高村 富三人 議員



のような事態をいち早く把握し、積極的に見解・意見・提案を進言できるようなスキルUPを強く望みます。

A.2 住民をはじめ、観光経済に影響する施設なので、これらの課題を整理し、解決に向けて取り組んでまいります。それには職員が率先して取り組むことが重要であり、今後10年・20年先を見据えた中長期的な施設の改修計画を立て、巨額なコストを考慮し、施設の集約・複合化などを含めて議員諸兄と共に慎重に考えてまいりたいと思います。

議会のYouTube配信 をしています!

開かれた議事を推進するため、令和5年度から定例会(村長所信、一般質問)を配信中です。一般質問の全内容については、YouTubeをご覧ください。



チャンネル登録
をお願いします!

山中湖村ホームページ内で「議会」検索

キーワード検索

議会



素晴らしいポテンシャルがある「花の都」の更なる活用を！

高村 盛雄 議員



花の都フローラルドームふらら

● 花の都公園のこれからの活用について

Q.1 過去、山中湖ワインが販売提供され好評でした。現在は民間でぶどう苗「山幸」を栽培されているようですが、今後の計画はあるかお聞きます。

A.1 平成20年にはワインの製造本数は7,000本を超えるまでに成長したが、村長に就任した3年前の時点でブドウ畑は病気の蔓延などもあり、ほとんどが壊滅の状況を確認、庁内で検討し撤退した。現在ワインを復活させたい有志により引き続きぶどう栽培を手掛けているので、状況を見守り検討したい。

Q.2 山中湖でも昔、秦の始皇帝が徐福に銘じて不老長寿の高原植物ハマナシの赤い実を求めた伝説があるようです。伝説とロマンを花の都で誘致に向けた取組み「薬膳料理に導入できる植物：朝鮮五味子・吾亦紅・桔梗など」実益性のある漢方薬を製薬会社と取組み栽培環境を整えることはいかがか伺います。

A.2 昨今、健康を意識した食物が注目される中、高冷地の環境を生かした富士高原薬草栽培などは特徴ある取組と思う。6年度から花き栽培を進めることと合わせた中で可能性を探っていきたい。

Q.3 以前ハリモミ林自然歩道での散策ツアーが行われたようだが、花の都利用者を増やすため再開することと、昨年6月高村清議員の一般質問「ハリモミ純林保護管理協議会」の進捗状況をお伺いします。

A.3 過去、観察学習会やエコツアーが行われていたが、林の使用で3年程前に違法的な行為が問題となり、山中浅間神社管理組合も入山許可を出せず以前のような利用ができない状況。保護管理活用を関係機関に相談したがそうした行為もあり簡単には進められないとの回答で話は進んでいないが、今後も関係機関に相談し、山中浅間神社管理組合とも協議を重ね一丸となり、村の宝を有効活用し誘客に繋げるよう努力したい。

Q.4 山梨県で脱二酸化炭素の水素生産を山梨大と共同研究している。水素燃料利用で発電を行う蓄電システムを使う施設の取組みをフローラルドームを活用し進めたらどうか。

A.4 昨年、村の環境宣言を行い、山中湖をより良い環境下で将来に残すため環境基本条例も制定した。脱炭素の一つとして水素燃料の活用は有意義な施策で、県にもその可能性があるかどうか働きかけながら関連する企業の誘致を含め検討していきたい。





昭和44年建築、
55年が経過した山中小学校

将来、
山中湖村を背負って立つ
子ども達のために！

羽田 英児 議員



● 山中湖版持続化給付(100万円)について

Q.1 コロナが五類に移行されたが、村全体の観光業者を取り巻く経済状況は未だに大変厳しい状況にあると思うが、村長公約でもある山中湖版持続化給付金の支給が未だにないのは、どういう理由か又、本当に出す気があるのか伺いたい。

A.1 インバウンドを含め観光客ももどつつあるが、事業経営は物価高騰により大変厳しい状況にあることは十分承知している。私としても、これまでの国県村の観光経済活性化政策で給付金相当以上の経済効果があったと認識し、一過性の強い給付金ではなく観光経済活性化政策を力強く実行していくなど総合的観点から給付金の支給は考えていない。しかし、今後更なる感染症の拡大や自然災害に直面し村民経済に大きな影響がでる事態には、給付金を含む支援が重要であり適切に対応したい。いずれにしても、村民の声、議員全員の理解、総意の上で給付金については判断していきたい。



● 村の最重要課題の一つである小学校統合の進捗状況について

Q.2 小学校統合・建設は村の喫緊の課題と誰もが思い、村長も「統合問題は村の最重要課題の一つである」と発言されているが、何の動きも見られません。2校とも築50年を経過し、地域住民・保護者からも現校舎の老朽化を危ぶみ、早期の学校建設を望む声が多数届いています。児童数も年々減少傾向で山中小181人、東小学校は63人と学校教育・行事に支障が出ているのが現実です。現状の説明、今後の対応をお聞きます。

A.2 令和2年度に「小学校統合検討審議会」が計6回開催され、その年の12月24日付で前村長に意見書の提出があり、私が就任した同年12月27日に意見書を引継ぎされました。意見書については、大変重く受け止めたが、就任間もないことから、審議会での検討・経緯経過等内容を慎重に精査してきました。現在、議員発議による「小学校統合及び教育の在り方に係る特別委員会」で、候補地における現状・課題を整理しているとお聞きしており、この委員会での結果や教育委員会から提出される報告書を基に結論付けていき、学校関係・保護者・近隣住民等を対象の説明会を開催し、村の姿勢を丁寧に伝え、理解を求めた上で早期に進めていきたいと考えています。

寄せられた



紹介(抜粋)

村議会では、皆様の建設的なご意見をお聞きする取り組みを行っています。(裏表紙)
前号(No.38)発行後にいただいたご意見や要望の一部を紹介します。

● 長池地区 80代男性



「外国人観光客が急増。長池親水公園内ですれ違いトラブルあり、大型バスの進入禁止など改善や、近隣にトイレ借りる人が多いので公衆トイレ・案内版の増設を！」

● 平野地区 60代男性



「ひらり交差点の停止線が一部分しか見えず観光の車も停止位置がわからない様子。長池親水公園の駐車渋滞がひどい、他の湖畔駐車場含め有料にしてはどうか。」

● 長池地区 70代男性



「前号の戦争即時停戦の意見書は素晴らしいと思う。歯科診療所の半分が利用されていないよう何か活用できないか。防災アプリは便利だが村のお知らせがタップ1回でわかると使いやすい。」

● 山中地区 60代女性



「お客さんに村施設利用のバスを案内したいが、ぐるりんバス時刻表が分かりづらい。温泉の終了時間が早すぎるという意見が多い。」

● 60代女性



「孫が小中学校に通っているが、テストが少ないなど教育への不満がある様で私が聞いても納得します、他の自治体へ行きたいと考えている親もいるようです。」

● 平野地区 60代男性



「長池親水公園の渋滞対策案
①出入口を複数にして入口・出口専用に分離。②山中地区と同様にすべて縁石を取りはらう。」

● 平野地区 50代女性



「ゴミステーションを設置してほしい。強風で道にゴミ箱が転がっていることもある。収集の人達も楽だと思えます。」

● 山中地区 女性



「女性議員が誕生しない理由を、議員さんでも議論してほしい。」

● 旭日丘地区 70代男性



「可燃ゴミの週4日収集は素晴らしいが月曜までの連休が多くなり、火曜が不燃物なので、土～火まで可燃ゴミ収集がない週が増えている、不燃ゴミ収集日を変更すれば解消されます。」

● 村外 30代

「役場で感じのよい職員もいたが、服装足元の乱れや、仕事ではないようなスマホ使用、教育ができていないのでは!?」

いただいた **声** は、全議員で
共有し、内容により、
次のように取り組んでいます。

- 1 村政への提言に反映すべきかなど、議員の意見交換の参考とします。
- 2 関係する課に直接「声」をお届けします。
- 3 必要に応じて、常任委員会等での調査を検討します。



広報編集委員による村民インタビュー 「村への想い、望むこと」

新年度を迎え、今回は**村内5地区**の代表者である**各区長の皆様**から地域に対する熱い想いをお聞きました。

● 高村 洋 山中区長

「私達地区も少子高齢化・教育・防災などの諸問題が山積みし、今こそ行政と区が一体となり次世代の子供・若者達に希望や期待を与え高齢者が安心・安全に暮らせ、また行動と発想を現実結ぶ地域づくりを目指します。」



● 天野 久雄 長池区長



地区道路の拡幅や、消防詰所・トイレのリニューアルに向けた村の取組みに感謝しています。今後は生まれ育った山中湖にいつ起きても不思議ではない地震や土砂災害に対し、自主防災会として村・議会と連携し備えていきたい。

● 天野 猶治 平野区長

コロナの影響で日常生活も様変わりしやっと落ち着きを取り戻してきました。少子化が急速に村は加速していて、一の原因は独身者が多い事だと思います。「なかなか出会いのチャンスがない」そこで行政窓口結婚相談課を設け取り組んでほしいと望みます。



● 佐藤 徹 旭日丘区長



「魅力的な自然環境である旭日丘は、別荘地域のため定住に関して負担が大きいです。住民を増やし、この地域から山中湖村を盛り上げて行くためにも、ライフラインにかかる負担額を他の地区と同様になるよう希望します。」

● 千葉 秀雄 沖新畑区長

「山中湖村の未来を担う人達が、安全(防犯・防災等)で安心して(子育て・インフラ等)して暮らせる生活環境を推進するため、区長としての仕事に汗を流したい。」



※ご協力、誠にありがとうございました。より良い村を目指すため、今後も議会にご指導をお願いします。

請願・陳情って、な～に？

今回は、皆さんが国・県・村に「こうしてほしい」という意見や要望を伝える方法として、「請願」と「陳情」がありますので説明します。

請願書

請願権は国民の権利で、日本国民だけでなく法人、外国人にも認められています。

対象となる事項

- 1 国、県や村の公権力の行使によって受けた損害の救済
- 2 公務員の罷免
- 3 法律や条例などの制定・改廃
- 4 国、県や村の事務に関するすべての事項

POINT

- ・提出には議員の紹介が必要となります。
- ・提出された請願書は、議会の審査の対象として取り扱われ、採択・不採択の意思表示をします。

陳情書

特定の事項についての利害関係を有する住民が、国、県や村にその実情を訴え、当局の適切な措置を要望するものです。

POINT

- ・提出には議員の紹介は必要ありません。
- ・原則、全議員に配布しますが、法的保護を受けるものではありません。
- ・議長が必要と認めるものは、請願と同様に取り扱います。

※詳しい提出手続きについては、議会事務局にお問い合わせください。



委員会レポート



2月15日(木)

● 第1回 湖及び湖畔の環境保全のための調査特別委員会

経過報告：高村 盛雄 委員長



湖・湖畔の適正利用は長年の問題であり、景観や将来を見据えた持続可能な観光のため、議会として解決に向け取り組む必要があり調査をスタートしました。

協議事項

- 湖の適正利用、河川占用について

富士山の世界遺産登録時から河川敷等の利用について協議してきた「明日の富士五湖創造会議」の進捗状況を役場担当者から確認。委員から他にも、動力船、漁業権、ゴミ、水質、船舶届、BBQ、村営駐車場、自転車など様々な問題に関する意見があり、今後は湖に関する法や規制、権利関係を整理し、正確に確認した上で「山中湖」を守るための調査を進めていきます。



議案の採決結果

● 全会一致の議案

令和6年3月 定例会

議案番号	議案名	内容	採決結果
報告 第1号	専決処分した事件の承認について 山中湖村手数料条例の一部を改正する条例制定について	戸籍法の一部改正で、本籍地以外での戸籍謄本等の交付が可能となることに伴う手数料設定等	承認
議案 第1号	山中湖村公立学校施設条例制定について	村民・村民以外の混合団体の使用料等を定める	可決
議案 第2号	山中湖村立公民館交流センター及びコミュニティセンター条例制定について	名称(公民館→公民館交流センター、村コミュニティセンター→平野コミュニティセンター)・休館日等の変更、村民以外の利用について定める	可決
議案 第3号	山中湖村スポーツ施設条例制定について	体育の名称をスポーツに変更、村民・村民以外の混合団体の使用料等を定める	可決
議案 第4号	山中湖村の豊かな自然を守る、育む、支える基本条例制定について	昨年の「山中湖村環境宣言」のもと、村民・村民・事業者・所有者の責務等、基本理念を定める	可決
議案 第5号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	「監査委員条例」「村公営企業の設置等に関する条例」の引用条項の改正	可決
議案 第6号	山中湖村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	仕事と家庭が両立できる職場環境を整備するための改正	可決
議案 第7号	山中湖村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	地方自治法の一部改正に鑑み、条項の一部を削除	可決
議案 第8号	山中湖村第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	パートタイムの会計年度任用職員に勤勉手当を支給するための改正	可決
議案 第9号	山中湖村職員給与条例の一部を改正する条例制定について	在宅勤務等手当について定める	可決
議案 第10号	山中湖村第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	フルタイムの会計年度任用職員に勤勉手当を支給するための改正	可決
議案 第11号	山中湖村すこやか子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	高校生相当年齢の方の医療費助成について、窓口無料化を実施する	可決
議案 第12号	山中湖村介護保険条例の一部を改正する条例制定について	国の定める介護保険計画の見直しに合わせ、保険料を9段階から13段階とする	可決
議案 第13号	山中湖村都市公園条例の一部を改正する条例制定について	桂川梁尻公園を都市公園として設置する	可決
議案 第14号	山中湖村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	非常勤消防団員の年額報酬を地方自治法の標準額とするもの	可決
議案 第15号	令和5年度山中湖村一般会計補正予算について	補正予算(第7号)154,317千円増額、歳入歳出予算総額5,530,482千円 歳入見込みの見直し、歳出残額の大きいものの減額、基金新規積立金の計上等	可決
議案 第16号	令和5年度山中湖村国民健康保険特別会計補正予算について	補正予算(第3号)46,508千円減額、歳入歳出予算総額779,811千円 歳入見込みの見直し、歳出残額の大きいものの減額等	可決
議案 第17号	令和5年度山中湖村下水道特別会計補正予算について	補正予算(第3号)12,840千円減額、歳入歳出予算総額441,083千円 歳入見込みの見直し、歳出残額の大きいものの減額等	可決
議案 第18号	令和5年度山中湖村簡易水道特別会計補正予算について	補正予算(第3号)3,136千円減額、歳入歳出予算総額156,917千円 歳入見込みの見直し、歳出残額の大きいものの減額等	可決
議案 第19号	令和5年度山中湖村観光施設特別会計補正予算について	補正予算(第1号)歳入項目の入替のみ	可決
議案 第20号	令和5年度山中湖村介護保険特別会計補正予算について	補正予算(第5号)22,240千円増額、歳入歳出予算総額457,645千円	可決
議案 第21号	令和5年度山中湖村介護予防支援事業特別会計補正予算について	補正予算(第2号)歳入項目の入替のみ	可決
議案 第22号	令和5年度山中湖村後期高齢者医療特別会計補正予算について	補正予算(第2号)605千円減額、歳入歳出予算総額157,596千円 歳入見込みの見直し、歳出残額の大きいものの減額等	可決
議案 第23号	令和6年度山中湖村一般会計予算を定めることについて	予算額53億2,547万8千円(前年度比4億8,746万3千円増)	可決
議案 第24号	令和6年度山中湖村国民健康保険特別会計予算を定めることについて	予算額7億6,222万5千円(前年度比6,351万3千円減)	可決
議案 第25号	令和6年度山中湖村観光施設特別会計予算を定めることについて	予算額4,743万5千円(前年度比19万9千円減)	可決
議案 第26号	令和6年度山中湖村介護保険特別会計予算を定めることについて	予算額4億3,103万2千円(前年度比167万8千円減)	可決
議案 第27号	令和6年度山中湖村介護予防支援事業特別会計予算を定めることについて	予算額707万5千円(前年度比34万9千円減)	可決
議案 第28号	令和6年度山中湖村後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて	予算額1億8,941万5千円(前年度比3,895万円増)	可決
議案 第29号	令和6年度山中湖村下水道事業会計予算を定めることについて	公営企業会計としての初めての予算 (主な事業)旭日丘地区水中汚水ポンプ更新工事費984万5千円	可決
議案 第30号	令和6年度山中湖村簡易水道事業会計予算を定めることについて	公営企業会計としての初めての予算 (主な事業)簡易水道事業経営戦略業務費2,016万3千円	可決
議案 第31号	山中湖村サービスセンターの指定管理者の指定について	令和6年4月から5年間、社会福祉法人博友会を指定する	可決

詳細は
広報やまなかこ
4月号P.12

詳細は
広報やまなかこ
4月号P.5

PICK UP!
P.2~3



議案の採決結果

● 全会一致の議案

令和6年3月 定例会

議案番号	議案名	内容			採決結果
議案 第32号	富士吉田市外二町四村一組合ことばの教室設置協議会規約の変更について	協議会の名称変更(ことばの教室→通級指導教室)に伴い議決が必要			可決
議案 第33号	山梨県市町村総合事務組合規約の変更について	新たに東山梨行政事務組合・峡南広域行政組合・富士五湖広域行政事務組合が競争入札に関する事務を共同処理することに伴い議決が必要			可決
議案 第34号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	委員1人 ・渡邊義彦氏			同意
議案 第35号	公平委員会委員の選任について	委員3人 ・天野 茂昭氏 ・大森 十三三氏 ・羽田 達彦氏			同意
議案 第36号	山中湖村区長及び区長代理者の選任について		区長	区長代理者	同意
		山中区	高村 洋氏	廣瀬 鉄也氏	
		長池区	天野 久雄氏	羽田 亀善氏	
		平野区	天野 猛治氏	長田 光裕氏	
		旭日丘区	佐藤 徹氏	長田 三長氏	
		沖新畑区	千葉 秀雄氏	後藤 孝三氏	

詳細は
広報やまなこ
5月号P.25

詳細は
広報やまなこ
5月号P.8

PICK UP!
P.11



議員活動トピックス



1月31日(水)



全国市議会議長会基地協議会

米軍・自衛隊施設等に関係する全国218市町村の議長で組織する同協議会の役員会・総会が東京・都市センターホテルで開催され、梶浦和朗議長が町村代表監事として参加しました。この日で監事としては任期満了となりましたが、引き続き、構成議会として基地関係の共通問題点の調査研究や、具体的方策を推進していきます。

第87回総会

4月14日(日)



北富士演習場「火入れ」

富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合と旧11ヶ村入会組合が主体の火入れが行われ、北富士演習場対策特別委員会(高村理三郎委員長)として、現地での状況を確認しました。火入れは、入会住民が演習場内に有する入会慣習に基づき、下草を焼いて林野雑産物の育成等を図るために行われています。

山中会場での式に参加

表紙写真

昔のあの場所、
今は？

昭和32年、戦後の復興から発展へ生活の向上が急速に進む、まだ山中湖村に村名変更する前の中野村の時代、旭日丘交差点付近の売店等の白黒写真をAI技術でカラー写真にしてみました。白黒写真また現在との比較をお楽しみください。

旭日丘交差点付近の売店等



昭和32年



現在

議会 主な活動状況 (令和6年1～3月)

※各組合議会等は除く

日付	会議	参加者
1/7 日	山中湖村消防団 出初式	全議員
	山中湖村 二十歳の成人式	正副議長、総務・観光経済常任委員会委員長
1/10 水	町村長・町村議会議長新年互礼会 (甲府市)	議長
1/11 木	南関東防衛局・防衛省あいさつ (神奈川・東京)	議長、演習場対策特別委員会委員長
1/16 火	富士北麓広域市町村圏正副議長会議議員合同研修会 (富士吉田市)	正副議長、議員6名
1/25 木	例月出納検査	監査委員
1/26 金	平野旅館民宿組合総会	議長、平野地区議員
1/31 水	全国市議会議長会基協協議会 (東京)	議長 P.14
2/8 木 ～ 2/9 金	行政視察研修 (静岡県・神奈川県)	議員11名 P.4
2/11 日	アイスクャンドルフェスティバル	副議長、議員7名
2/15 木	第1回湖及び湖畔の環境保全のための調査特別委員会	委員11名 P.12
	議会運営委員会	委員4名、議長
2/20 火	町村議会 第4回議長会議	議長
2/22 木	令和6年度予算説明会	全議員
2/26 月	例月出納検査	監査委員
2/27 火	山中湖村 防災会議	議長、消防委員4名
2/29 木	第3回小学校統合及び教育の在り方に係る特別委員会	委員10名 P.5
3/4 月	議会運営委員会	委員4名、議長
3/6 水	第1回定例会 初日	全議員
3/11 月	山中湖中学校 卒業式	正副議長、総務・観光経済常任委員会委員長
3/12 火	予算特別委員会	委員12名 P.2
	観光経済常任委員会	委員6名
3/14 木	第4回小学校統合及び教育の在り方に係る特別委員会	委員12名 P.5
3/16 土	沖新畑区総会	議長
3/19 火	東小学校・山中小学校 卒業式	正副議長、総務・観光経済常任委員会委員長
3/20 水	平野区戦没者慰霊祭	副議長、平野地区議員
3/22 金	第1回定例会 最終日	全議員
3/23 土	長池区戦没者慰霊祭	長池地区議員
3/25 月	平野保育所 退所式	副議長
	山中保育所 退所式	議長
3/26 火	例月出納検査	監査委員
	山中湖村社会福祉協議会 第3回評議員会	議長
3/28 木	広報編集委員会	委員6名
	第7回 富士吉田忍野スマートIC地区協議会	議員1名
	北富士演習場現地連絡協議会	議長、演習場対策特別委員会委員長

切り取り線

村民の皆様の声をお聴かせください

切り取り線

編集後記

議員改選から1年が経ちました。
議会だよりの充実を目指し、リニューアル後4回目(通算39号)を数えますが、冊子の完成に向け限られたページ数で、内容・ページ割・字体・フォント・イラスト・カラーなどを決めるため、得意・不得意はあるものの委員として関わることの大変さを痛感しています。

皆様に正確な情報を伝えることはもちろんですが、広報誌としての内容精査をしっかり行い、見やすく分かりやすい「議会だより」となるよう、これからも努めてまいります。

今号は新年度がスタートしましたので、村にとって大切な予算の審査状況や、各地域のためご尽力されている各区長の皆さんの声などを紹介しています。

ぜひお読みいただき感想や、より良い村づくりのために皆様の声・地域の声をお聞かせください。

広報編集委員 長田 一彦



別角度からの旭日丘交差点付近の写真



昭和32年



現在



料金受取人払郵便

富士吉田局
承認

1076

4 0 3 - 8 7 9 0

山梨県南都留郡山中湖村
山中237-1

差出有効期間

令和7年7月

31日まで

<切手不要>

山中湖村議会 行き



村民の皆様の **声** をお聴かせください
(裏面に記入)

記入、○印をつけて投函してください。

- お名前: _____
- お住まいの地区: 山中・平野・旭日丘・長池・沖新畑・村外
- 性別(任意) : 男性・女性・未回答
- 年代(任意) : _____歳代

切り取り線

切り取り線

山中湖村議会の取組み



議員活動・議会運営に反映させるため、皆様の建設的なご意見をお聞きする取組みを行っています！
(P.10をご覧ください)

ハガキもしくはQRコードからお願いします



議会だよりのアプリ配信

山中湖村議会だよりは、スマートフォンやタブレット用の無料自治体広報アプリ「マチイロ」でも配信しています。

アプリをダウンロード！



広報電子版



android



iOS

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は6月6日(木)に開会予定



どなたでも傍聴できます！

※日程や議会情報はこちらから
(または議会事務局にお問い合わせください)

ご利用にあたっての注意事項

- このアプリは株式会社ジチタイワークスが運営しています。
- アプリのダウンロードや情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。
- アプリ内に広告が表示される場合がありますが、配信会社が掲載しているもので内容に関して山中湖村議会は一切責任を負いません。

村の広報紙もバックナンバー含めて配信されています。

令和6年5月27日発行
発行/山中湖村議会
編集/広報編集委員会

● お問い合わせ
山中湖村議会事務局 電話0555-62-3166
〒401-0595 山梨県南都留郡山中湖村山中237-1

● 広報編集委員会 | 委員長:高村 富三人 副委員長:羽田 浩 委員:長田 一彦 委員:高村 盛雄 委員:高村 覚 委員:高村 明成



「山中湖村防災アプリ」
からもご覧いただけます。
便利ですので、
ぜひダウンロードを！



android



iOS



こちらから